



「新しい世界に出会うために」

学術研究情報センター長 鵜殿 悦子

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。この時期になると自分が大学生になった時のことを思い出します。生家は襖と障子で仕切られているだけの古い日本家屋だったので、私には個室という体験がありませんでした（当時としてはめずらしくもありませんが）。大学生になり、初めて家族から離れ、下宿の鍵のかかった一室が自分のものとなりました。そうしたら、時間が増えて、仕事のはかどることといったら！一人でいることはこんなにもすごいことなんだ、という大発見をしました。その時の感動は今でも忘れません。

ところで、今年アカデミー賞作品賞を受賞した奴隷制を描いた映画『それでも夜は明ける』は、ソロモン・ノーサップという人が書いた奴隷体験記が元になっています。フレデリック・ダグラスの奴隷体験記と並んで有名なものです。ダグラス、ノーサップに共通しているのは、文字の重要性の認識です。ある日、奴隷所有者は、妻が戯れに幼い奴隷のダグラスに字を教えているのを見て、烈火のごとく怒ります。このことにより、ダグラスはこの世の重要な秘密を獲得するのです。カチッという鍵の音がして、閉ざされたドアが開き、新しい風景が見えてきます。大なり小なり、皆さんにはこのような体験を大学生時代にしてもらいたいと思うのです。

アメリカ文学という私の研究領域の関係から、今年もニューヨーク、ハーレムを訪れました。公立図書館の、黒人表象の変遷をたどった展示コーナーにいと、アフリカ系男性と小さい女の子の二人連れが来ました。お父さんは娘に説明します——「黒人を馬鹿にするためにあらゆる工夫がなされてきた」と。女の子は真剣な顔でお父さんの言葉に耳を傾けています。怒りは大きなエネルギーとなります。それは必ずしも負のエネルギーではありません。

こうしたパラダイムの転換の体験は、何かがきっかけとなって起こり、孤独な思考の中で醸成されるものと考えます。大学図書館は新しい時代に対応し変化していかなければなりません。今も昔も変わらない重要な機能は、学生に自己と向き合う静謐な場を提供するということです。自己の孤独と対面し、自己と世界との関係を考え、そこから学問研究を行うことこそ、学生がしなければならないことです。そして、そのことはたった一人でしか行うことができません。そのような個人であってこそ、集合して何かを行う意味があると思います。

愛知県立大学図書館は、そのような場を学生の方々に提供できるよう努力してゆきます。図書館に対する要望等は、遠慮なく図書館職員、私（外国語学部）、副センター長百瀬先生（看護学部）、センター長補佐奥田先生（情報科学部）、身近な先生にお伝えください。匿名での要望も図書館内の「ご意見箱」によって常時受け付けています。

■図書館オリエンテーション参加受付中！

まず最初に受けてほしい図書館いろはがわかる講座。

「館内ツアー30分」+「検索の仕方30分」からなり、図書館内の施設の利用法、サービスの種類や申し込み方法など、図書館の基本的な使い方を学ぶ講座です。

主に新生を対象にしていますが、それ以外の方ももちろん受けられます。

「図書館オリエンテーション」

【内容】 図書館案内 + 資料の探し方(計 60 分)

【定員】 各回 20 名(先着順)

【申し込み方法】 図書館カウンター・電子メール

(宛先) etsuran@lib.aichi-pu.ac.jp

(件名) 図書館オリ

(本文) 所属学科(専攻)、学年、氏名、希望日時をご記入ください

【日程】 4 月 16 日(水) ~ 5 月 14 日(水) 全 10 回

* ほかクラス・ゼミ単位でのお申し込みも随時受付

* 詳しい日程は図書館カウンターまたはホームページでご確認ください。

■もっといいレポートを書きたいあなたに贈る情報探索講座

初級「レポートの達人」

レポートの書き方と、レポートを書くための図書館の利用法を知る講座。レポート作成の基本的手順を追いながら、基本的なデータベースの利用法や県大図書館にない資料の入手法など、文献を探す基礎を学びます。

情報検索の入門はこちらの講座で！

上級「データベースの達人」

初級レポートの達人で学んだ基本のデータベースに加えて、各学部・学科ごとの専門的データベースについて使い方や特徴を学ぶことで、より多くの文献を効率よく集められるようになります。

3年生以上に特におススメです。卒論を書くためにはぜひ受講してください。

詳しくは、図書館ホームページや館内掲示等でお知らせします

■リベラルアーツ（教養教育図書）コーナー

「Tosho Ring コーナー」がリニューアルしました。

旧コーナーにあった図書に加えて、教養教育科目の講義で使う教員の推薦図書・参考図書を集めました。学生の皆さんが、図書を通じて「教養」分野の広さと深さを楽しく体感できるような「場」になるように、今後もさらにコーナーは充実させていく予定です。ソファに坐って本を読んだり、借り出してじっくり読んだり、様々なスタイルでご利用ください。

また、購入リクエストも受け付けています。（リクエスト図書は、貸出ができるようになるまで2か月程度を見ておいてください。また、専門的な図書は、2階の一般書架のほうに配架します。）



■新しい季節に、新しい本との出会いをしてみませんか



新入生歓迎企画「図書館今月の5冊 総集編」を開催中です。

日時 4月3日(木)～5月27日(火)

会場 図書館1階フロア

図書館では、おすすめの図書を「今月の5冊」として紹介しています。今回、昨年度紹介してきた約60冊をあらためて展示・貸出します。

寄贈いただきました、先生方の本を紹介します 2013年10月～2014年2月

立石博高 奥野良知著 『カタルーニャを知るための50章』 明石書店 2013 [302.36/Ta94]

加藤里美 奥野良知著 『全球化社会の深化:異文化をめぐる化合・還元・触媒』



成文堂 2011 [361.5/Ka86]

猪口孝[ほか]編著 鈴木隆 『環日本海国際政治経済論』 ミネルヴァ書房 2013

[302.2/Ka57]

フランセスク・ムニョス著 竹中克行 笹野益生訳 『俗都市化：ありふれた景観グローバルな場所』

昭和堂 2013 [518.8/Mu35]

中島裕昭編 四ツ谷亮子 『ブレヒト演劇における言語,身体,振舞』 日本独文学会 2008 [772.34/B72]

鈴木隆, 田中周編 『転換期中国の政治と社会集団』 国際書院 2013 [302.22/Su96]

国分良成 鈴木隆著 『現代中国政治外交の原点』 慶應義塾大学出版会 2013 [312.22/Ko45]

犬飼隆編 丸山裕美子 『語り継ぐ古代の文字文化』 青簡舎 2014 [810.23/I59]

中根千絵編著 『名古屋謎解き散歩』 KADOKAWA 2013 [291.55/N38]

與那覇潤著 『중국화 하는 일본 동아시아 1천년 문명의 충돌』 페이퍼로드 2013

[整理中] (『中国化する日本：日中「文明の衝突」一千年史』(韓国語版))

東島誠 與那覇潤著 『日本の起源』 太田出版 2013 [210.04/H55]

開館カレンダー (開館時間等を変更することがありますので、ホームページ等でご確認ください。)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

□ 9:00～21:20 ■ 9:00～17:00 ■ 9:00～18:20 ■ 休館

愛知県立大学 学術研究情報センター 長久手キャンパス図書館
 TEL:0561-76-8841 E-mail:etsuran@lib.aichi-pu.ac.jp
<http://www.aichi-pu.ac.jp/library/>